

令和7年度 中央区地域包括支援センター運営協議会 議事録

1. 開催日時 令和7年8月4日(月) 午後1時30分～午後3時

2. 開催場所 神戸市役所4号館1階会議室

3. 出席者 委員 8名 事務局 5名 傍聴者 1名

4. 議題

(1)令和6年度中央区地域包括支援センターの運営状況報告

- ① 地域包括支援センター月別実績報告書
- ② 地域ケア会議について
- ③ 地域包括支援センターの連絡会等実施状況

(2)令和7年度中央区地域包括支援センターの事業計画書について

(以下非公開)

(3)特定事業所へのサービス集中率について

(4)地域包括ケア充実のための事業目標(地域活動計画)

5. 当日出された意見及び事務局回答

(1)令和6年度中央区地域包括支援センターの運営状況報告

①地域包括支援センター月別実績報告書

<委員>

ケアプランの委託について、ケアマネジャーの負担軽減と結びついているのか詳細を教えてください。

<事務局>

要支援のケアプランは主にあんしんすこやかセンターが作成している。あんしんすこやかセンターは地域支え合い活動や地域ケア会議等の活動もあるため、併設している居宅介護支援事業所や他の居宅介護支援事業所へ一部委託することで、あんしんすこやかセンター職員の負担軽減になっている。

<委員>

マイケアプランとは別のものか。

<事務局>

同様。ご自身で作成する方もいるが、あんしんすこやかセンターがプランを作成する場合もある。

<委員>

質問ではなく補足。あんしんすこやかセンター職員と一緒に地域へ行くなかで感じたことをお伝えしたい。

神戸市はふれあいのまちづくり協議会が中心となり、地域行事の企画や運営をあんしんすこやかセンター事業に乘せて協働して実施している。防災行事や夏祭りであんしんすこやかセンターが広報啓発を実施。地域活動参加の底上げになっており、あんしんすこやかセンター職員が地域に密着し受け入れられて活動している。

ある地域では、参加当初は端のブースを出していたが、地域との関係を深めるなかで2年前から本部ブースで広報啓発をするようになった。日々の関わりや地道な努力が地域の人に受け入れられていると感じている。

<委員>

要介護状態になった方の支援はマンパワーが必要。予防に力が入れられれば転倒から起こる様々なリスクを防ぐことができる。支援者の高齢化やマンパワー不足という話が出ていたが、今後支援者が増える目処があるのか、改善が難しいのか教えてほしい。

<事務局>

あんしんすこやかセンター職員の人員体制が厳しい現状はあるが、神戸市ホームページでも職員の募集を行う等、市も協力している。あんしんすこやかセンターの法人も継続して職員募集をしているため今後補填されると予想される。また、神戸市では、今年度より70歳のフレイルチェックを開始しており、8月からはそれ以外の年齢の方もホームページ上でセルフフレイルチェックができるようになった。あんしんすこやかセンターの人員体制は難しい状況だが、市民にもフレイル予防の意識を持っていただければよいと思う。

<委員>

セルフフレイルチェックはどのような広報をしているのか。薬局に来られた方にセルフフレイルチェックについて伝えてよいのか。また、セルフフレイルチェックの実施年齢は決まっていないのか教えてほしい。

<事務局>

神戸市のホームページや広報誌にセルフフレイルチェックについて掲載している。また、プレス発表を行ったと聞いている。是非本人や家族に広報していただきたい。なお、セルフフレイルチェックの実施年齢は決まっていない。

②地域ケア会議について

質問・意見なし。

③地域包括支援センターの連絡会等実施状況

質問・意見なし。

(2)令和7年度中央区地域包括支援センターの事業計画書について

質問・意見なし。